

戸田市薬剤師会理事会 議事録

記録日	令和6年12月24日
記録者	染川智行

日時	令和6年12月10日(火) 19:30~21:00	出席者	野口 佐貫 小林 小澤 鎌田 染川
場所	あおば薬局戸田公園		

議事

1. 議題

- (1) 川口・蕨・戸田で合同実習について
- (2) 偽造処方箋について
- (3) 継続案件
 - C会員新設について
 - 理事報酬について
 - 費用弁償について
- (4) その他

2. 報告・確認事項

- (1) 賀詞交換会参加者
- (2) 戸田・蕨市薬剤師会合同新年会
令和7年1月30日(木) 19:00~ 戸田市文化会館
- (3) 戸田市薬剤師会会務確認
- (4) その他

会議内容

1. 議題

- (1) 川口・蕨・戸田で合同実習について

佐貫：北先生から、来年度から川口・蕨・戸田で合同実習が行えることになったとの連絡ありました。開催時期は、前半1回、後半1回の2回実施される。年明けの担当は川口市薬剤師会で2/21に川口ふれあい会館で開催予定です。内容は理想の薬剤師・保険請求(レセプト)・セルフメディケーション、介護認定、老人体験、薬局トリアージ、質問コーナーなどです。後期の日程はまだ決まっていますが、成果報告・発表になる予定だそうです。費用が1人100円、付き添いが必要等のルールがあるようです。また、担当は持ち回りになるそうです。まだ、詳細については話し合いが必要ですが、委員会としましては参加出来たらと思っています。理事会での検討をお願いいたします。

野口：進めて良いと思います。

鎌田：詳細を積めるところはあるが、進めることは問題ないと思う。

全会一致で承認

- (2) 偽造処方箋について

染川：これまでの経緯を説明します。

11/26(火)本町薬局へLINE、第一薬局へE-Parkで同一処方箋が送付されてきた。患者家族が第一薬局に処方箋を持参し交付。

11/27(水)本町薬局へ偽造処方箋(別添処方箋1参照)持ち込み。担当者が第一薬局で既に交付済み

であることを確認。警察に通報し、警察官から嚴重注意の対応がなされ終了した。

11/27(水) 会員へ偽造処方箋注意喚起メール配信。

11/27(水) スマイル薬局においても同様の事案発生。既に警察からの嚴重注意がなされていたため終了。

11/29(金) あおば薬局戸田公園 薬剤師会からの注意喚起のメールから、同一患者による11月5日にE-Parkで応需(別添処方箋2参照)、7日交付の事案があったため、E-Parkの電子手帳を確認したところ、同一患者、同日、同一内容でセキ薬局戸田公園店から交付されていた事が発覚した。南部保健所担当者への報告。

11/29(金) セキ薬局戸田公園店で処方箋を突合し同一であることを確認した。

11/29(金) 第一薬局においても11月5日の同一処方が確認された。(第一薬局においては本年6枚持ち込まれ4枚がコピーの疑いだった)

11/30(土) 小澤氏(第一薬局)と対応を協議。第一薬局、あおば薬局戸田公園、セキ薬局戸田公園店の3軒で、11月5日の偽造処方箋については、家族に面談の上薬剤料を請求、支払いをもって終了とするという方向で検討。

11/30(土) 最寄りのさくら薬局新曾南店(非会員)に情報共有したところ、同一処方が確認された。(さくら薬局新曾南店では本年8枚持ち込みがあった。)

12/4(水) セキ薬局戸田公園店 梅田氏より、南部保健所からの指示で昨年11月から1年間の当該患者の応需処方箋を確認したところ、応需した17枚のうち9枚が偽造、内8枚が瀬川クリニック、1枚(モビコールのみの処方)が小児医療センター(小児医療センター3枚のうち1枚が偽造)との報告あり。

12/4(水) 瀬川記念小児神経学クリニック 星野院長に連絡
これまでの経緯を説明し、過量投与による健康被害と医療機関と患者との関係破綻を危惧する旨伝える。星野先生との協議から下記の対応が必要と考える。

- 該当薬局及び保健所または警察担当者同席のもとで、患者保護者と話し合いを持つ。
- 処方箋のコピーは犯罪である旨伝える。
- 余剰薬に関しては過量投与による健康被害防止のため回収する。
- 診察予定日が近く受診の際には、これまでの経緯を把握している旨保護者に伝える。処方箋の発行がある場合は、今回に限ってあおば薬局戸田公園に郵送する。今後は電子処方箋への切り替えを検討する。
- その後の経緯を星野先生に電話及び文書で伝える。

12/6(金) 11/5 処方箋応需の4薬局で情報共有及び今後の対応検討

4薬局の2~11月の瀬川記念小児神経学クリニック処方箋応需状況確認したところ、原本9枚、コピー17枚だった。

12月19日(木) 患者保険者、南部保健所、該当薬局4軒の代表で話し合いを実施する予定。

戸田市薬剤師会として偽造処方箋対策を理事会で検討する必要があると思ひ議題に上げました。

小澤：薬剤師会としては、再発防止策の検討した方が良いと思います。

戸田市では絶対偽造処方箋は、「戸田市では捕まりましたよ」「処方箋のカラーコピーは犯罪です。」などインパクトのあるポスターの作成などが必要だと思う。

“怪しい行動、帽子を深く被りマスクをする、LINE等で処方箋を送り薬局での滞在をできるだけ短くする、”などの特徴がみられるため、防止策としては行動を観察する。

野口：薬剤師会としては、“戸田でやると捕まりますよ”などのアクションが必要。

染川：再発防止策は、薬局の集合体である薬剤師会として行うべきである。

次回の理事会で、ポスター等の作成などを検討する。

(3) 継続案件

- C会員新設について
- 理事報酬について
- 費用弁償について

染川：C会員の 신설より、現状のB会員のままでよいと思う。

B会員の県薬、日薬への入会条件を外すことにより、戸田市のB会員が増えるのであればメリットは大きい。

野口：A会員も、県薬、日薬入会の条件を外してもよいのではないかと思う。

小澤：県薬、日薬に入るメリットを感じていない薬剤師も多いのではないかと思う。

戸田市薬剤師会に未加入の薬局も地域貢献活動やHP掲載など、地域薬剤会とはうまく付き合っているという流れになっている。むしろ、県薬、日薬の入会が足枷になっていると思う。

鎌田：A、B会員とも、県薬、日薬への入会は、事業者判断でよいのではと思う。

染川：この件と理事報酬、費用弁償も併せて継続案件にします。年度内に結論を出したいと思います。

(4) その他

鎌田：ビブスのサンプルが届いています。

染川：サンプルのビブスに戸田市薬剤師のロゴ、名称を印刷したものを20枚作成で良いですか？

全会一致で承認

2. 報告・確認事項

(1) 賀詞交換会参加者 1月10日戸田市文化会館

野口、染川参加

(2) 戸田・蕨市薬剤師会合同新年会

令和7年1月30日(木) 19:00～ 戸田市文化会館

(3) 戸田市薬剤師会会務確認

(4) その他

鎌田：学術研修委員会から、来年1月14日学術講演会があるので参加をお願いします。

小澤：保険薬局委員会から、薬業研修会を2月21日に計画しています。

決定事項

- 川口・蕨・戸田で合同実習実施
- ビブス20枚作成

検討事項

(継続案件)

- 偽造処方箋再発防止策検討 1月理事会で検討
- C会員新設・理事報酬・費用弁償 年度末までの決定